

事業番号 2021 - カジノ - 20 - 0002

令和3年度行政事業レビューシート (カジノ管理委員会)

事業名	カジノ事業の監督等に必要システムの構築等			担当部局	カジノ管理委員会事務局	作成責任者			
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画課	課長 堀 信太郎			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	特定複合観光施設区域整備法(平成30年法律第80号)第214条、第215条ほか			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	カジノ施設への入場回数制限や厳格な背面調査の実施等を実現するためのシステムの構築等により、特定複合観光施設区域整備法に基づく厳格なカジノ規制の確実な執行に資する。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	特定複合観光施設区域整備法で規定されているカジノ施設への入場回数制限を実現するために必要な入退場管理システムや、厳格な背面調査の実施に必要な背面調査支援システム等の構築等。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
		補正予算	-	178	238	437	0		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	178	238	437	0		
	執行額	-	145	147	-	-			
	執行率(%)	-	81%	62%	-	-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	81%	62%	-	-				
令和3・4年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	情報処理業務庁費	437	0	令和4年度要求額340百万円はデジタル庁にて一括計上。背面調査支援システムの構築終了による減額等。					
	その他	0	0						
	計	437	0						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標最終年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-								
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と平成30~令和2年度の達成状況・実績					
	システムの構築等についての経費であり、定量的な目標を設定することは困難。			入退場管理システムについては、令和元年度に要件検討を終え、令和2年度にプロトタイプ的设计・構築を開始しており、令和3年9月末までにプロトタイプを完成するとともに、令和5年3月までに本体構築を完了する。背面調査支援システムについては令和2年度までにシステム要件検討を終えており、令和4年3月までに構築を完了する。					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標最終年度
			実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	システムの構築等のために執行した経費	活動実績			-	145	147	
	当初見込み			-	-	-	437	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	背面調査支援システムの計画停止や災害による停止を除く稼働率(99%以上)	活動実績		-	-	-	-	
	当初見込み			-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	入退場管理システムの計画停止や災害による停止を除く稼働率(99.95%以上)	活動実績		-	-	-	-	
	当初見込み			-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	-	単位当たりコスト	—	-	-	-	-	-
		計算式	/	-	-	-	-	-

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	カジノ施設の設置及び運営に関する秩序の維持及び安全の確保						
	施策	カジノ事業の健全運営のための制度の整備						
	測定指標	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)			
		カジノ管理委員会規則等の意見公募手続の実施等に向けた検討・審議	カジノ管理委員会規則等の意見公募手続の実施等に向けた検討・審議を進める。	令和2年度	カジノ事業の健全な運営を確保し、カジノ規制を厳格に実施するため、261項目のカジノ管理委員会規則等の内容について、意見公募手続の実施等に向けた検討・審議を進める。			
						施策の進捗状況(実績)		
	カジノ管理委員会規則等について検討・審議を進め、カジノ管理委員会において、意見公募手続の実施について議決を行った。							
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
本事業の成果については、特定複合観光施設区域整備法に基づく厳格なカジノ規制の確実な執行に資するものである。								

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	カジノ行為への依存防止対策は、重層的、多段階的な取組を実施する必要があり、入場回数制限を含む厳格な入場規制はその取組の一つであることから、入退場管理システムは国民や社会のニーズを的確に反映している。また、背面調査はカジノ事業者の廉潔性を確保するために必要であり、それに用いるシステムであることから、背面調査支援システムは国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	入退場管理システムについては、特定複合観光施設区域整備法第70条第2項において、カジノ事業者が国に入場回数制限の該当性を照会することになっていることから、民間等に委ねることはできない。また、カジノ事業者の廉潔性を確保するための背面調査は国が実施するものであり、それに用いる背面調査支援システムも国が整備する必要があることから、民間等に委ねることはできない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	カジノ行為への依存防止対策は、重層的、多段階的な取組を実施する必要があり、入場回数制限を含む厳格な入場規制はその取組の一つであることから、入退場管理システムは必要かつ適切な事業である。また、背面調査はカジノ事業者の廉潔性を確保するために必要であり、それに用いるシステムであることから、背面調査支援システムは必要かつ適切な事業である。

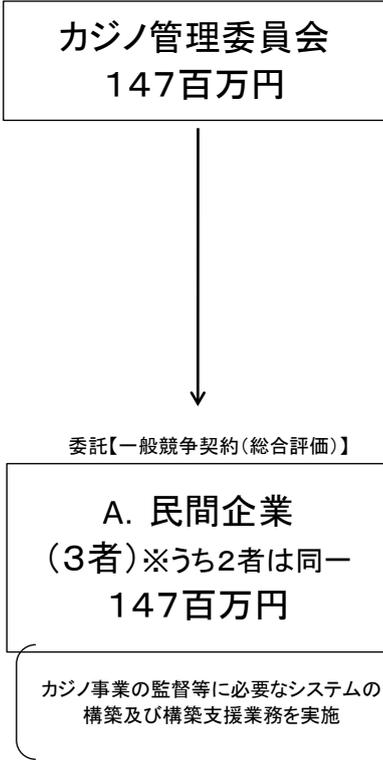
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札を実施しており、競争性は担保されている。事業のうち一者応札となったものもあつたが、結果的に一者応札となったものであり、十分な公募期間(50日以上)の設定、官報・HP等への掲載等、適切に公募プロセスを実施している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	仕様書や見積りの精査、政府CIO補佐官等によるチェックにより、費目や使途について真に必要なものに限定している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	一般競争入札による競争のためであり、妥当である。	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	仕様書を作成する段階で政府CIO補佐官等からの助言を受け、仕様書の内容の具体化に努め、コストの削減を図っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	特定複合観光施設区域整備法第70条第2項において、国は入場回数制限の該当性を直ちに回答することとなり、入退場管理システムはその実施に不可欠なシステムであることから、他の手段・方法はない。また、背面調査はカジノ事業者の廉潔性を確保するために必要であり、背面調査支援システムはその効率的な実施に不可欠なシステムであることから、他の手段・方法はない。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	カジノ事業の監督等に必要なシステムについては、円滑に構築が進んでいる。	
	改善の方向性	今後も引き続き適正に予算を執行するとともに、カジノ事業の監督等に必要なシステムの円滑な構築に努める。	
外部有識者の所見			
引き続き、適切に事業を遂行していただきたい。ただし、1者応札になった案件については、「支出先上位10社リスト」にその理由や改善策を記載してはどうか。			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	外部有識者の所見のとおり、指摘事項についてはレビューシートに明記すべきである。また、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めるべきである。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	外部有識者の所見のとおり、指摘事項についてレビューシートに明記した。引き続き、効果的・効率的な事業の実施等に努める。		
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号

令和元年度			
令和2年度			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 株式会社野村総合研究所			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	入退場管理システムの構築	59.6			
計		59.6	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社野村総合研究所	4010001054032	入退場管理システムの構築	59.6	一般競争契約 (総合評価)	2	-	
2	デロイトトーマツコンサルティング合同会社	7010001088960	背面調査支援システム仕様書作成業務	53.9	一般競争契約 (総合評価)	1	-	【理由】 入札説明書を受領したが入札に参加しなかった業者へヒアリングを行った結果、「体制・要員の確保が困難」との意見があった。 【改善策】 業者への幅広い勸奨等の改善策を講じていく。
3	デロイトトーマツコンサルティング合同会社	7010001088960	入退場管理システムのPJMO支援業務	33	一般競争契約 (総合評価)	2	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	A	株式会社野村総合研究所	4010001054032	入退場管理システムの構築(5会計年度)	401	一般競争契約 (総合評価)	2	-	